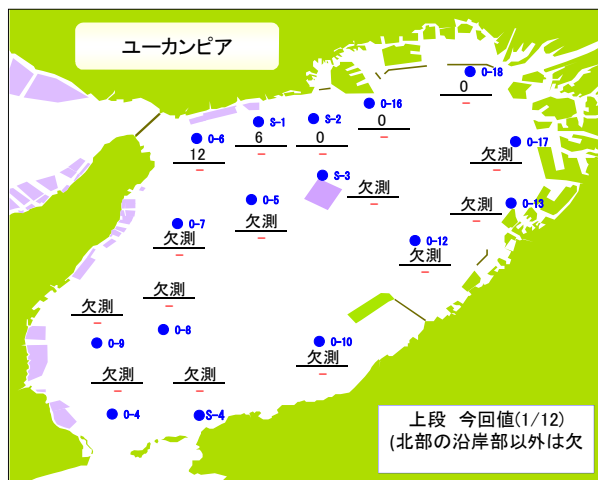
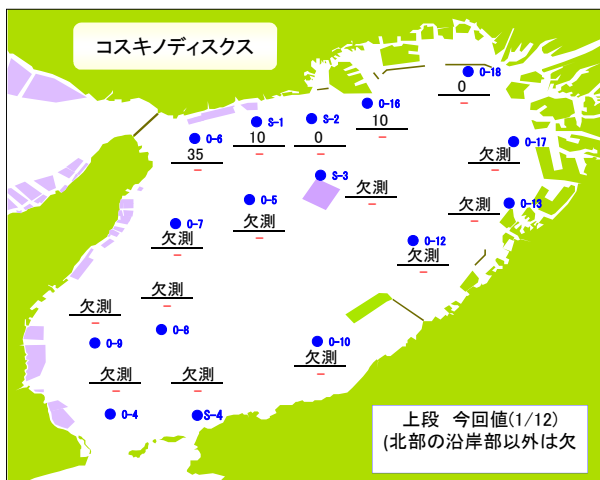
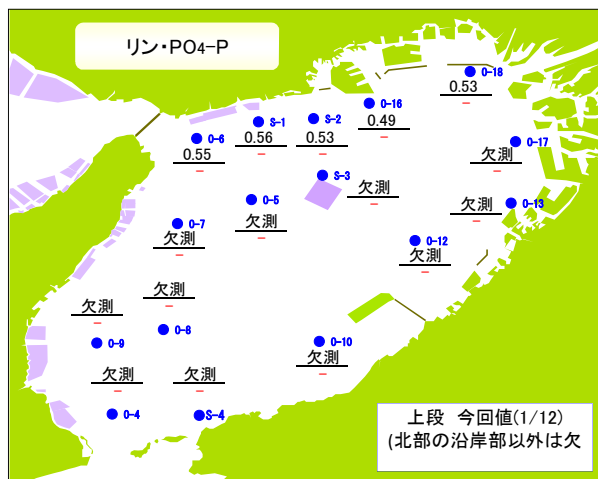
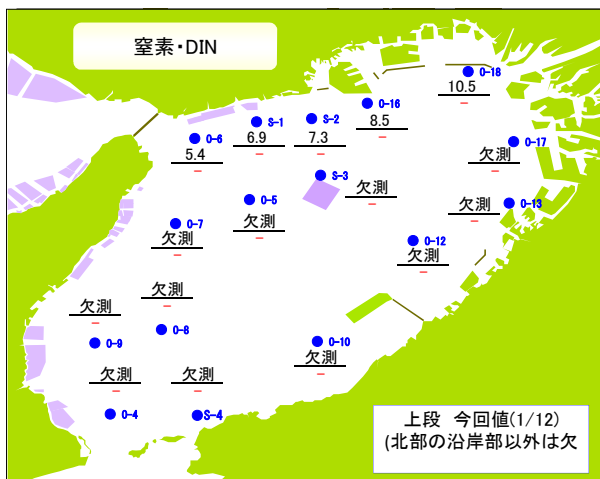
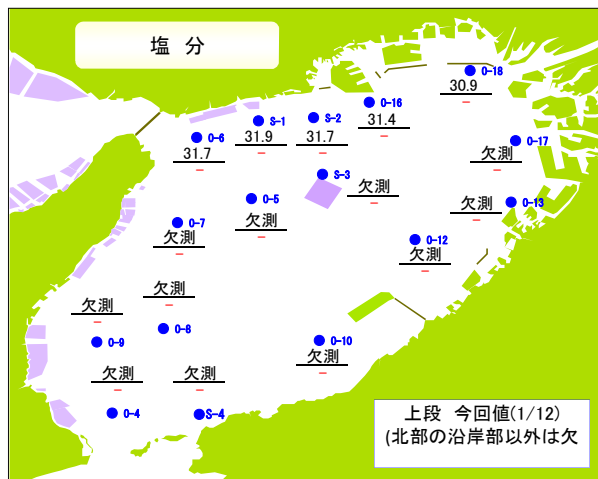
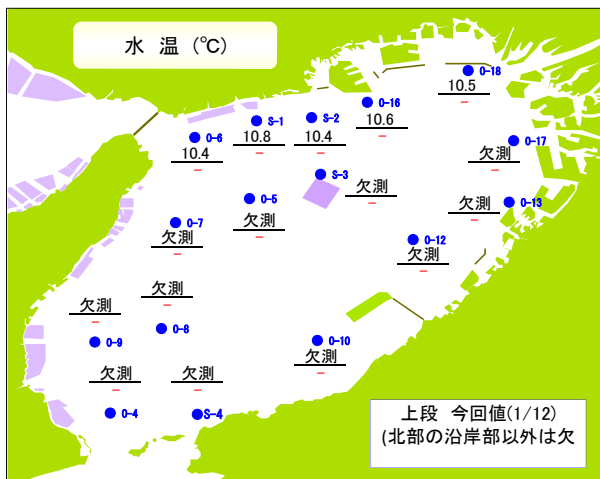
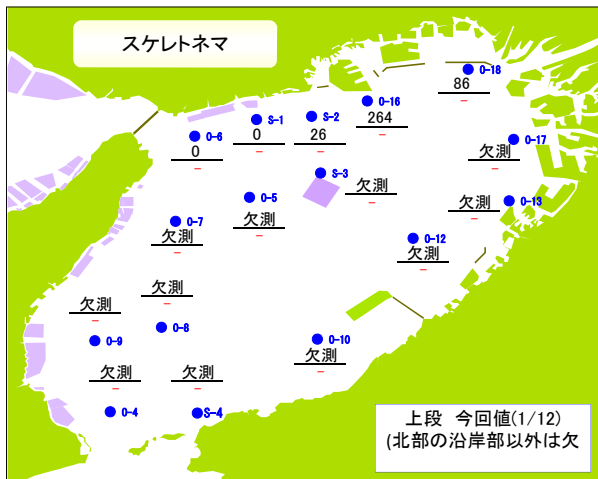


ノリ養殖環境速報 KO-29-01号 (大阪湾)

発行 平成30年 1月 12日
 兵庫県水産技術センター(078-941-8601)
 兵庫のり研究所(078-942-1531)

※平成29年度から「珪藻赤潮情報」の名称を「ノリ養殖環境速報」に変更しています
 水産技術センター、のり研究所では、1月から4月上旬までの間、大阪湾の水温や栄養塩などに関する情報を月2~3回提供することとしています。ノリ養殖管理の参考にしてください。今回は1月12日の調査結果についてお知らせします。今回は1月12日の調査結果についてお知らせしますが、時化のため調査は北部の沿岸部のみとなっています。水温は10.4~10.8℃で、この時期としては低めとなっています。栄養塩は、窒素(DIN)が神戸市地先で5.4~9.5 μg-at/L、リンは0.49~0.56 μg-at/Lで今のところ十分です。全般にプランクトンの発生量は少ないですが、コスキノディスクスやキートセロスがみられ、湾奥から兵庫沖ではスケレトナマ、明石海峡部に近い海域ではユーカンピアがみられます。今後の動向に注意が必要です。(次回は1月26日頃発行の予定です)





この情報は、水産技術センターホームページ(<http://www.hyogo-suigi.jp/>)でもご覧頂けます。